

2007年3月期中間期決算における主なQ&A

Q1:今年度の売上計画を100億円ほど下方修正しているが、どの製品が想定よりも悪くなるのか?

A1:主として携帯電話端末向け、デジタル家電製品向け、パソコン周辺機器向け半導体の所要減によるものです。

Q2:売上を下方修正しても、上期(4~9月期)よりも下期(10~3月期)の方が売上が伸びる計画となっているが、何が売上を牽引するのか?

A2:ゲーム機向けの半導体や自動車向け半導体の売上増を計画しています。また、国内の携帯電話端末向けも第4四半期での回復を見込んでいます。

Q3:なぜ研究開発費が増加しているのか?研究開発費を削減すれば、営業黒字化が可能なのではないのか?

A3:研究開発費については、強化すべきものと縮小すべきものの双方を考えておりますが、当社の中期的な売上成長・製品構成の改善に貢献すると期待されるASSP(用途専用品)やマイコン向けには積極的に研究開発費を投入しています。今年度の研究開発費の計画を期初の1,200億円から、今回80億円増加の1,280億円と計画を変更しております。

Q4:社長就任から1年のタイミングで中期的な戦略を発表するはずではなかったのか?なぜ発表しないのか?

A4:社内では中期的な戦略について議論を行い、本日(10月25日)、その骨子を発表するつもりで準備を進めてまいりましたが、今年度の下期の業績について下方修正を行うことになり、まずは足もとの業績改善に全力で取り組むことが急務であると考えております。したがって、本日は中期的な戦略を発表することはできませんでしたが、今年度の下期の業績改善に向けて最大限の努力をしております。